

すみれ通信 112号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に発信しています

〒 251-0032
藤沢市片瀬339-1
藤沢市医師会館
在宅医療支援センター
☎ 0466-41-9980
Fax 0466-41-9981
メールアドレス fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp

10月



第2回在宅医療・介護連携多職種研修会開催

開催日：令和6年8月27日(火) 19:30~21:20
場 所：藤沢市医師会館2階ホール
テーマ：その人らしい最期を支える為に多職種でかわる在宅での看取り

【シンポジスト】

- ・在宅医療に従事する医師の立場から
湘南台スマイルクリニック 藤原正三先生
- ・在宅での看取りに従事する看護師の立場から
訪問看護ステーションナースであんしん湘南 大慈めぐみ氏
- ・在宅介護サービスを調整するケアマネジャーの立場から
共生会居宅サービスセンター 三上直樹氏
- ・看取りを経験した家族の立場から
藤沢市地域医療推進課 林優子氏



研修参加者：94 名

所属	職種	数
病院、診療所	医師	10
歯科医師会	薬剤師	6
薬剤師会	看護職	35
訪問看護ステーション	介護職	3
居宅介護支援事業所	社会福祉士	9
地域包括支援センター	事務職	5
介護施設	ケアマネジャー	23
市役所	その他(管理職2・SW1)	3
市民病院		
その他		

アンケート結果(概要を記載) 回収数 91名 (回収率 97%)

- ・色々な立場から話が合って、良い構成でした。看取りの現場に関わる人からの生の話、大変興味深く勉強になりました。
- ・意見交換も多職種から聞けて勉強になりました。
- ・看取り経験がないので、より具体的にイメージができるようになりました。
- ・声掛けの言葉を選ぶこと、横のつながりが大切な事を学びました。
- ・自分が在宅で関わった患者さんをたくさん思い出しました。看護師、ケアマネさんのお話は共感することも多く、患者家族の立場のお話では自分の発言が患者さんに与える影響について考えさせられました。

- ・お看取りを在宅で実施する際にそれぞれの職種、立場により様々な考え方向き合い方があり、事例を含め勉強になりました。今後の支援の中で参考、実践していきたいと思います。
 - ・ACP改めて再認識しました。
 - ・どのパネリストも為になるお話でした。人が相手である以上、絶対的な正解はなく、でもそこをないがしろにはせず、毎日が勉強だなと思いました。
- ★今回の研修会は、回答者全員が今後役に立つ内容だったと回答され、シンポジウムも好評でした。



一般財団法人同友会

藤沢湘南台病院



患者総合支援センター

藤沢市北部に位置する藤沢湘南台病院は330床を有する急性期医療中心のケアミックス病院です。

泉区・大和市・綾瀬市にも隣接しているため、多方面からの救急患者を受け入れています。また、今年度からは「紹介受診重点医療機関」として、より一層の地域医療への貢献を目指しております。

地域包括ケア病棟は30床あり、療養先の調整やリハビリ目的の患者様以外にも、COVID-19 罹患患者を受け入れ、月に10~20名程の緊急入院の対応もしています。多忙ではありますが、多職種と連携・協働し患者様へ「安全・安心の医療提供」を心掛けております。

当院は、一般急性期病棟210床を有している事もあり「院内転棟患者が多く占めている」イメージをお持ちの方も多いのではないかと考えているのですが、院内転棟の割合は約4割で、院外からも積極的に受け入れています。病状によっては一旦、一般急性期病棟で受け入れてから、地域包括ケア病棟へ転棟するケースもあります。また、在宅療養中の方の輸血療法や腰椎圧迫骨折などの疼痛コントロール目的の方などの対応もしています。

レスパイト入院では、高齢者だけではなく障害サービスでは対応が難しい状態の、障害者(成人期)の受け入れも前向きに検討しています。このように個々の多様な状態・病状に合わせご相談させていただきますので、まずは患者総合支援センターにご連絡下さい。

担当者 小原・原田

